

薬が服薬時間を通知したらどんなにすごいでしょ

服薬時間が遅れたり飲み忘れてたりした時間がわかったらどんなに便利でしょう。

患者の50%が服薬時間を守っていません(WHO)。無意識のうちに服薬時間を忘れてしまうのが、主な理由です。服薬時間を忘れる大部分の患者に、服薬時間を通知するだけで服薬時間を守れるという調査結果が出ました。

Whisperは、服薬時間を通知し、記録します。

Whisperは、服薬治療の成功をサポートします。使い方も簡単に確実に作動します。Whisperは、服薬時間を光と音で通知し、患者の服薬を見守ります。患者は、服薬してから機器にある唯一のボタンを押すだけで通知を受領します。Whisperは、受領を記録します。受領記録は、服薬フォローと服薬計画に活用できます。

Whisperは、フィンランドで設計したデザイン製品です。



Whisperiの使用方法

Whisperiを設計する際に特に考慮したのが、高齢の方達です。機器の唯一のボタンを押すだけで通知を受領します。アラーム機器は、水のかからず、アラーム音が聞こえる所に置いてください。Whisperは、クリップで服に装着でき、薬と一緒にポケットに入れたり、キーホルダーとして使用出来ます。機器は、全自動錠剤散薬分包機、配薬箱、薬保管箱と接続することができ、冷蔵庫のドアや壁掛けカレンダーに装着することが出来ます。

Whisperは、3段階で服薬時間を通知します。



1) 設定時間になるとサイレントアラームを出します。その際、毎10秒点滅します。受領サインは、光と音で通知します。



2) 受領されなければ、点滅アラームに加えて3回短いアラーム音を10分間、毎2秒出します。



3) 10分以内に受領されなければ、服薬時間の遅延の通知状態になります。アラームは、ボタンを押すか次の服薬時間になるか24時間経過するまで続きます。

服薬受領時間の記録

Whisperは、服薬受領時間を記録します。記録は、Whisperプログラムで解凍します。

通知時間のプログラミングと受領時間のチェック

通知時間は、商品に梱包されているWhisperプログラムで簡単にプログラミングできます。ユーザーインターフェースは、カレンダービューで、マウスで通知時間を自由に選べます。病院、ホームケア、薬局など1台のコンピュータで2人以上のアラームをプログラミングしたい場合は、モニターにユーザー名を加えることが出来ます。コンピュータに2人以上の記録がある場合、プログラムは、正しいユーザーと機器を接続します。Whisperは、梱包されているケーブルでコンピュータに接続出来ます。1,2分でプログラミングは完了し、その後すぐに機器を使用出来ます。

使用中のWhisperの受領記録は、Whisperプログラムで閲覧出来ます。プログラミングしたアラームと受領時間は、自動的に画面に出ます。服薬時間の記録データは、投薬治療の評価に重要です。

- 患者の状態が新薬で予測通りにいかない場合は、服薬を指導どおり行なっているか調べることが出来ます。
- 患者が一定期間遅れて受領したり受領を一切しなかった場合は、服薬時間を変更することが出来ます。
- 服薬時間が不規則な場合は、その原因を究明し、改善することが出来ます。



テクニカルインフォメーション

Whisperには、革新的なパワーコントロールが内蔵されています。電池寿命は、約2000回のアラームで、早めに電池交換を通知します。電池は、Whisperサポートで交換し、同時に機器の点検、手入れを行うことをお勧めします。Whisper関連商品は、ヨーロッパの医療機器指令の安全基準を満たしています。

サイズ:60mm x 28mm x 8mm | 重さ: 30 g | 国際認証(クラス1 医療機器)

詳細: www.ciegus.com

注!携帯電話は、医療機器基準を満たさず、信頼できないので服薬アラームには適していません。同様に、ショートメッセージも患者にモチベーションを与えることはできませんが、信頼できないので、服薬アラームには適していません。詳細: www.ciegus.com